

# 企業見聞録 VOL.12

1961年に「勝浦ホテル三日月」がオープンしてから半世紀。  
 自ら観光資源を創造し、地域と寄り添い、リゾートの新しい価値を生み出し続けた。  
 三日月はその姿勢を堅持しつつ、近年、海外への進出を本格化。  
 次なる50年へ向けて進化し続ける三日月を訪ねた。



ベトナム「ダナンホテル三日月」完成予想図。20階建て、294室、宿泊定員852名に及ぶ規模となる予定だ。毎年恒例のホテル三日月社員研修旅行は、2017年にホーチミン、2019年にハノイで実施し、ベトナムの地を学んでいる

## 次の50年はベトナム・ダナンから

現在、三日月グループでは「ベトナム・ダナンプロジェクト」が進行中だ。日本における労働力不足や少子高齢化を見据え、海外進出は創業者である故・小高芳男前会長の悲願だった。小高芳現社長がその意志を受け継ぎ、昨年、ベトナムの企業買収に成功。ベトナム随一のリゾート地であるダナン市に、2020年に日帰りスパドームと屋外スパを、2021年には、三日月で培ってきた和のテイスト・日本文化の提唱をコンセプトとした「ダナンホテル三日月」をオープンする計画だ。ダナン市の所有地を、日本人企業初となる土地オークションで落札したことにより業界から注目が集まり、規模は約13ヘクタールに。千葉県初となるダナン市投資セミナーやジェトロ（日本貿易振興機構）で小高社長が講演を依頼されるなど、国や行政の視線も熱い。

こうしたハード面だけでなく、海外人材教育というソフト面に力点を置くのもプロジェクトの特徴だ。「ベトナムの方々への人材育成を通じて、日本のおもてなしの心を身につけてもらい、将来は現地や日本で活躍してほしい」と、高橋さんはプロジェクトに期待を寄せる。アインさんも「ベトナムに戻ったら、新しい三日月でチーフをやりたい。日本の文化も伝えたい」と夢を抱く。ベトナムでアインさんに教わった人材が、アインさんのように日本で活躍することになったら素敵な展開である。地域との共存共栄を貫いてきたこれまでの三日月の50年。これからの50年は国レベルでその精神が共有されようとしている。



1) ベトナムから来日したレーティフォー・アインさん。サービス全般を担当。この日はアインさんに館内を案内してもらった  
 2) 館内レストランはオーシャンビュー。刺身定食やパスタなど、幅広い料理が味わえる。ランチ時は宿泊者以外も利用可なので、お気軽にどうぞ  
 3) 海に臨むテラス  
 4) ビッグひな祭りの時は三日月もお雛様ムードに  
 5) 実は、お笑いタレントの千原ジュニアさんは三日月の宣伝部長なのだ  
 6) ダンシングウォーターは17時・19時・19時半・20時・20時半に実施



## 【勝浦スパホテル三日月】

**所在地** 勝浦市墨名820 **創業** 1961年「勝浦ホテル三日月」として10部屋からスタート。同年「鴨川スパホテル三日月」(鴨川市)、2000年「龍宮城スパホテル三日月」(木更津市)、2009年「きぬ川スパホテル三日月」(日光市)、2016年「龍宮城スパホテル三日月 富士見亭」(木更津市)、2018年「The Nature Villas & Resort」(ダナン市)を運営。全拠点地域No.1、総部屋数1113室。現在、ベトナム・ダナンプロジェクトを進行中  
**主な事業内容** スパホテル、レジャー施設の運営。テナント、商社事業など **従業員** 100人弱 ☎ 0470-73-1111  
<http://www.mikazuki.co.jp/katoura/>

## おもてなしの心あふれるアインさん

「湯ったり、多っぶり、呑くんびり」…勝浦に移住して間もない頃、勝浦駅から港に向かって歩いていたら不意にあのメロデーが流れてきて、「おっ、三日月のCM曲だ!」と興奮したのを思い出す。勝浦スパホテル三日月の建物前に噴水があり、そこから曲が流れてきていたのだが、実はこの噴水、夕方からイルミネーション・レーザーショー「ダンシングウォーター」が展開される。フォトジェニックな噴水ショーは宿泊者でなくとも、誰でも見学できるので、ぜひ一度、水と光の共演を体感してみたいかならう。その噴水の脇を通り抜け、館内に入ると、にこやかな笑顔で出迎えてくれたのが、ベトナムより来日したレーティフォー・アインさんだ。勝浦生活は約一年になるそうで、流暢な日本語に驚かされる。接客が好きだったことから三日月のスタッフ募集に応募したアインさん。「お客さんとお話ができて楽しいです。『またアインさんに会いに、ここに来たいわ』って言ってもらえることがあって、すごく嬉しいです」と再び笑顔をみせる。「近くの朝市がオススメですよとか、勝浦はカツオが有名なんですとか、勝浦のいいところをお伝えします」と、PRもばっちり。アインさん自身、朝市を散歩したり、海鮮丼や勝浦タンタンメン(特にその辛さが好きだとか)をよく食べるそうだ。そばでアインさんの様子を見つめていた営業・企画主任の高橋司さんも「実は、アインさんは勝浦スパホテル三日月のお客様アンケート好感度得票数が1位なんです」と太鼓判を押す。